

追加説明資料 (広報、CBD製品、薬物事犯統計)

令和 3 年 4 月 2 3 日
厚生労働省医薬・生活衛生局
監視指導・麻薬対策課

追加説明資料

1. 広報について 2
2. CBD製品の買取調査について 5
3. 令和2年薬物事犯統計（速報値）について ... 7

1. 国民的啓発運動

○不正大麻・けし撲滅運動
(5月1日～6月30日)



＜目的＞不正栽培と自生している大麻やけしの発見、除去と大麻やけしに関する正しい知識の普及のための広報啓発

○『ダメ。ゼッタイ。』普及運動
(6月20日～7月19日)



＜目的＞国民の薬物乱用問題に対する認識を高め、併せて「国連麻薬乱用撲滅デー」の周知を図る

○麻薬・覚醒剤乱用防止運動
(10月1日～11月30日)



＜目的＞麻薬・覚醒剤などの薬物乱用による危害をより多くの国民に知っていただき、一人一人の意識を高めることにより、薬物乱用の根絶を図る

2. 青少年層への啓発

○薬物乱用防止啓発読本

【小学6年生
保護者向け】



【令和2年度配布実績】
134万2千部

【高校卒業
予定者向け】



【令和2年度配布実績】
116万2千部

【青少年向け】



【令和2年度配布実績】
19万2千5百部

○薬物乱用防止啓発訪問



小・中学校を始めとした教育機関等からの要請に基づき、薬物乱用防止教室等へ講師を派遣したり、地域の催しや大規模イベント等へのアトラクションの貸出やブース出展を実施する



この他、facebookやtwitterを活用しての情報発信も実施



薬物乱用防止対策（一次予防・二次予防）

	一次予防	二次予防
目的	青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による 薬物乱用未然防止	薬物乱用者に対する適切な治療と効果的な 社会復帰支援による再乱用防止
対象者	国民全般（主に学生）	薬物使用経験者（初犯・再犯者等を含む）
実施内容	<p>● 青少年に対する普及啓発（薬物乱用防止啓発読本）</p> <p>【小学6年生保護者向け】 【高校卒業予定者向け】 【青少年向け】</p>  <p>● 地域における国民的啓発運動</p> <p>不正大麻・けし撲滅運動 『ダメ。ゼッタイ。』普及運動 （5月1日～6月30日） （6月20日～7月19日）</p>  <p>● 薬物乱用防止啓発訪問事業</p> <p>小・中学校を始めとした教育機関等からの要請に基づき、薬物乱用防止教室等へ講師を派遣して、啓発を実施。また、FacebookやTwitterを活用して情報を発信。</p> 	<p>● 相談機関活用促進のための啓発</p> <p>薬物問題を抱える当事者や家族のための小冊子の配布。</p>  <p>● 再乱用防止プログラムの周知広告</p> <p>薬物事犯により検挙され、保護観察が付かない執行猶予判決を受けた者等に対して、再乱用防止プログラム、相談窓口の周知。</p>  <p>● 薬物依存症・中毒に関する啓発</p> <p>薬物依存症・中毒に関する正しい知識・理解の普及のため、一般市民や民間団体等を対象として、依存症専門家を招き全国6ブロックで「再乱用防止対策講習会」を開催。</p>

薬物乱用防止デジタル広報啓発事業（新規）

令和3年度予算案
30,000千円

1. 現状・課題

- 第五次薬物乱用防止五か年戦略（平成30年8月薬物乱用対策推進会議）において、「目標1 青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止」が掲げられている。
- 大麻事犯について、平成31年・令和1年の検挙者人員は6年連続で増加し、過去最多（4,570人）を更新した。検挙人員の約6割が30歳未満であり、特に若年層における乱用が危惧される。
- スマートフォン等の普及により、手軽にインターネット、特にSNS等を利用して情報共有が容易になっており、乱用される薬物の取引形態が多様化・巧妙化している。
- デジタルツールによる情報収集に長けた現代の若年層に対して、新たな広報啓発が必要となっている。
- 令和2年度に計画していた集会型の啓発運動・大会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、相次いで中止となった。

2. 事業目的

集会型によらない新たな広報啓発の方法として、デジタル世代の若年層等をターゲットにした、インターネット上での行動に応じた広報啓発を実施する。

3. 事業内容

- ① 啓発対象者の絞り込み
- ② 対象者に有効なコンテンツの作成
- ③ 薬物の取引等にも使われるSNS等で配信
- ④ 効果検証

CBD製品に関する調査について①(調査概要)

背景

市場に流通しているCBD製品※1から、大麻に含まれる有害成分である「THC※2」が混入したCBD製品が発見される事例が発生したことから、国内におけるCBD製品の流通実態を把握するため、下記の調査を実施したもの。なお、本調査については、定期的の実施する予定としている。

※1) CBD製品: 幻覚作用を持たない大麻成分であるCBDを含む製品。

※2) THC: 大麻成分の1つであり、幻覚作用が強い。

調査概要

① 国内販売状況調査

➤ 目的

国内で販売されているCBD製品に係る製品の種類、CBD含有量、その他含有成分等について調査し、国内におけるCBD製品の流通状況を把握することを目的とする

➤ 実施時期

令和2年6月から同年8月

➤ 実施方法

インターネットにおいて、検索エンジン「Google」を用いて「CBDオイル」を検索ワードとして検索し、検索結果として表示された製品について、製品の種類、CBD含有量、その他含有成分等について調査を行う

② 買取調査

➤ 目的

国内で流通しているCBD製品の買取調査を実施し、大麻に該当する疑いのある製品や不当表示の可能性がある製品の流通の有無について確認することを目的とする

➤ 実施時期

令和2年12月から令和3年2月の間

➤ 実施方法

インターネット販売されている製品から下記の方法により選定した12製品について、買い取りを実施した上、当該CBD製品の成分分析を行う

(選定方法)

1. インターネットにおいて、検索エンジン「Google」を用いて「CBD 販売」を検索ワードとして検索
2. 検索結果として表示されたインターネット販売店の上位12店舗のホームページにおいて、トップに掲載されている製品のうち、一般的な流通形態である液状のものを対象とする

CBD製品に関する調査について②(調査結果)

① 国内販売状況調査

1. 調査数：139製品
2. 調査結果
 - CBD含有量(%)：1～99%
 - CBD以外の含有成分：カンナビジバリン(CBDV)、カンナビゲロール(CBG)、カンナビクロメン(CBC)、カンナビノール(CBN) 等
 - その他製品概要：別表1のとおり

(別表1)

製品種別	製品詳細	価格
食品 (経口摂取)	グミ、コーヒー、キャンディー、スナック菓子、プロテイン、カプセル、シロップ、スプレー、オリーブオイル、パスタ、ジュース、オイル、パウダー、チンキ、蜂蜜	最低価格：1,278円
		最高価格：24,000円
化粧品 (塗布)	ボディーバター、クリーム、ロールオン、クーリングシート、フェイスマスク、リップグロス、バーム、ローション、シャンプー、洗顔料、マッサージオイル	最低価格：900円
		最高価格：14,300円
雑品	リキッド、ワックス、ペット用オイル、タバコ、バスオイル、バスソルト	最低価格：1,980円
		最高価格：29,800円

② 買取調査

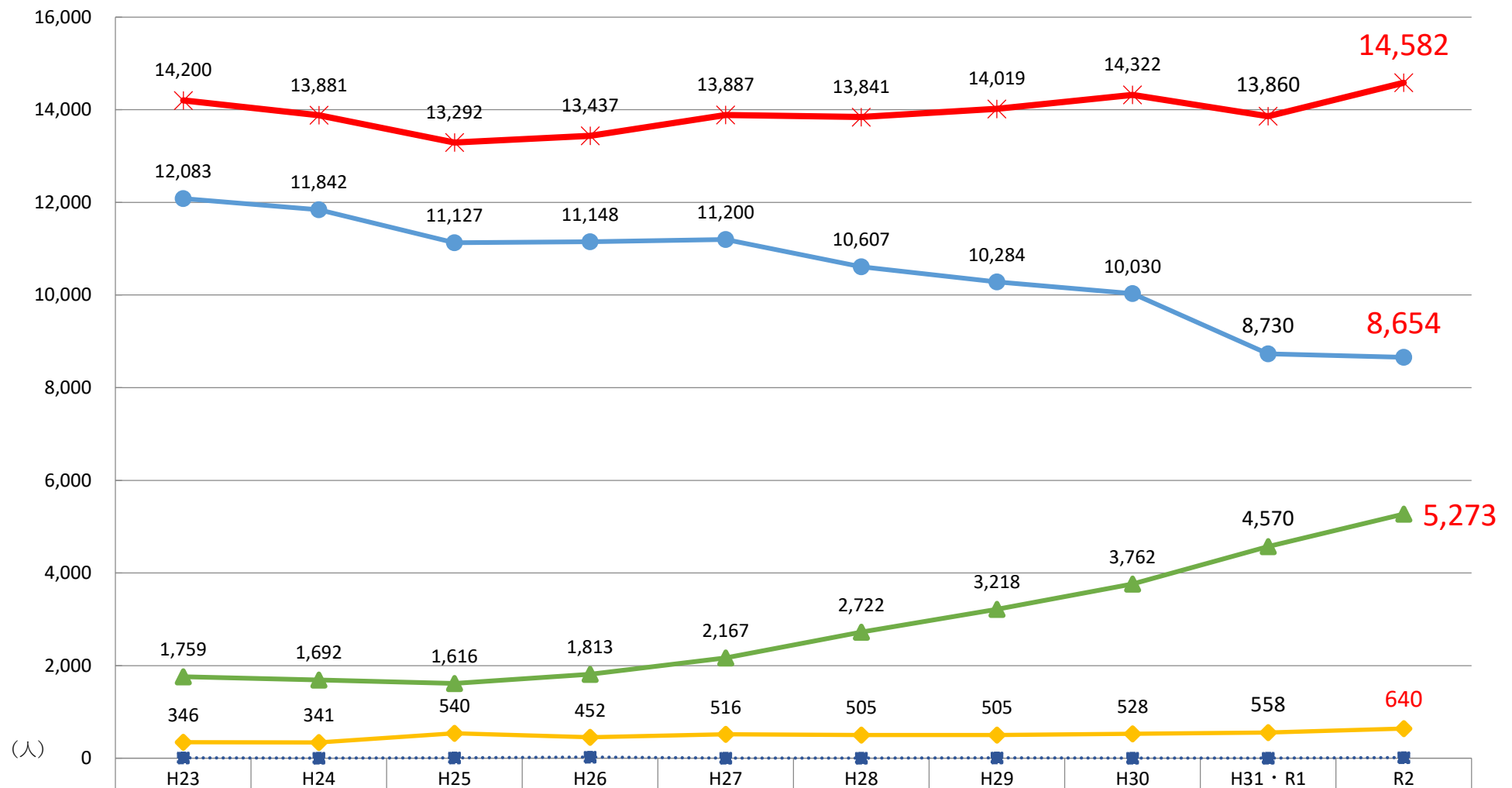
1. 調査数：12製品
2. 調査結果
 - THC検出の有無：全て不検出(詳細は別表2のとおり)

(別表2)

	製品1	製品2	製品3	製品4	製品5	製品6	製品7	製品8	製品9	製品10	製品11	製品12
THC検出の有無	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

薬物事犯検挙人員の推移（速報値）

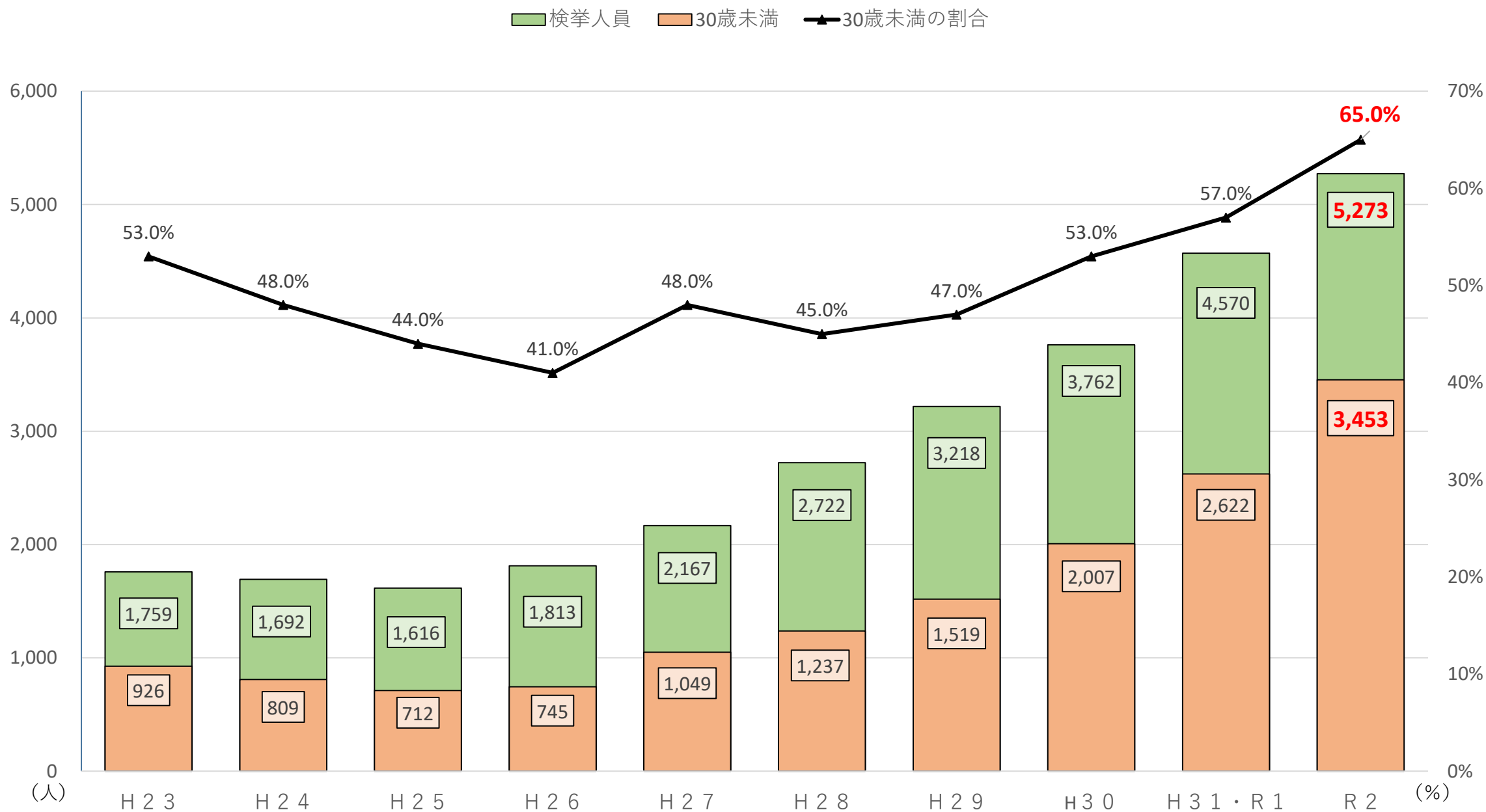
- 薬物事犯全体の検挙人員は、昨年より増加し、**過去10年で最多**
- 大麻事犯の検挙人員は、**7年連続で増加**し、**過去最多を更新**
- 麻薬事犯の検挙人員は、**過去10年で最多**



● 覚醒剤	12,083	11,842	11,127	11,148	11,200	10,607	10,284	10,030	8,730	8,654
▲ 大麻	1,759	1,692	1,616	1,813	2,167	2,722	3,218	3,762	4,570	5,273
◆ 麻薬・向精神薬	346	341	540	452	516	505	505	528	558	640
⋯■ あへん	12	6	9	24	4	7	12	2	2	15
✱ 全薬物事犯	14,200	13,881	13,292	13,437	13,887	13,841	14,019	14,322	13,860	14,582

大麻事犯における検挙人員及び30歳未満の割合（速報値）

- 大麻事犯における30歳未満の検挙人員は、**7年連続で増加**
- 大麻事犯の検挙人員のうち、**30歳未満**が占める割合は**65.0%**



大麻事犯における20歳未満の検挙人員（速報値）

- 大麻事犯における20歳未満の検挙人員は、**6年連続で増加**
- 30歳未満の検挙人員のうち**20歳未満**が占める割合は**26.0%**

